

視察等報告(復命)書

三次市議会議長 様

報告者氏名 黒木靖治

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

視察議員	(会派:ともえ)新家良和・小田伸次・弓掛元・藤井憲一郎・月橋寿文
	(会派:真生会)杉原利明・斎木亨・鈴木深由紀・横光春一
	(会派:公明党)黒木靖治
期 間	令和6年1月31日(水)～令和6年2月3日(金)
視 察 先	・衆議院第一議員会館 ・参議院議員会館
視 察 用 務	① 1月31日(水) :特別交付税陳情
	② 2月2日(木) :「食料・農業・農村基本法の改正」教育振興基本計画
	③ 2月3日(金) : こども未来戦略
視察先対応者	① (衆議院議員)斎藤鉄夫・平林 晃・日下正喜・小島敏文・石橋林太郎 小林史明・佐藤宏治・畔元将吾 (参議院議員)宮沢洋一・越智俊之・森本真治・三上絵里
	② 農林水産省農村振興局の担当
	③ こども家庭庁長官官房参事官(総合政策)付計画係 新田氏)
概要及び所見	①【特別交付税陳情】 令和5年度特別交付税の増額要望書を、広島県選出衆参国会議員へ手渡し 陳情しました。
	②【食料・農業・農村基本法の改正について】
	「食料安全保障の抜本的な強化」
	「環境と調和のとれた産業への転換」
	「人口減少化における生産水準の維持・発展と地域コミュニティの維持」
	上記の観点から改正が協議されていますが、農業は、人の命を支えているということが
	政策の基になっていないといけないと思います。難しい問題ですがしっかりと内容

にしたいと思います。

②【教育振興基本計画について】

・5つの基本的な方針

・16の目標と基本施策、指標

・2つのコンセプト

(持続可能な社会の創り手の育成)

(日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上)

上記の内容で説明を受けました。

教育は、一番大事なことで教育制度の内容を変えてだけのように思えます。

根本からの教育制度の見直しが必要で、文科省の意識改革が必要だと思います。

説明を受けて「子どもにとって、何が一番」かを考えるべきだと思います

③【こども未来戦略について】

こども家庭庁について

・こども家庭庁について

・こども家庭庁について基本法とこども大綱

・自治体こども計画策定支援

・こども未来戦略「加速化プラン」

・こども・若者の意見反映

・その他

(地域少子化対策重点推進交付金)

(こども・子育てにやさしい社会づくりのための意識改革)

上記の内容について説明を受けました。

○ こども家庭庁は

子ども家庭庁のスローガンに「こどもどまんなか」。

わたしたちはみなさん一人ひとりの意見を聞いてその声をまんなかに置き

アクションしていきます。そしてみなさんにとって最も良いことは何かを考えて

政策に反映していきます。

みなさんや子育てしている人たちの困っていることには向き合い、いざとい

うときに守るための仕組みをつくっていきます。

とありますが、まだはじまったばかりで体制が軌道に乗るのは時間がかかると
思います。今までは大人が中心の視点で子どもにたいする政策を考えられていました。
これからは、「大人と同じように、子どもを一人の大人として尊重していく」
「子どもにとって何が一番大切かを考えていく」ことが重要で、大人社会の意識改革
が求められていると思います。

今回の研修を受けて、「誰のため、何のため」というしっかりとした目的を持って取り組み
(農業者・消費者)、(幼児・児童・生徒・学生・先生・保護者のため)をしていかないと
制度や政策が整っても、実情にあわないことにならないようにしなければならないと思
います。三次市においても市の実情にあったやり方をしていってもらいたい。

